

4400万人の命が救われました

2020年末までにグローバルファンドのパートナーシップが支援したプログラムによって4400万人の命が救われました。グローバルファンドが支援する国々において、エイズ、結核、マラリアによる死亡者数が2002年から46%¹減少しています。この成果は、プログラム実施国の政府、国際機関、二国間援助政府、市民社会組織、三疾患の影響を受けた人々、および民間セクターとの協働、そしてたゆまない努力によるものです。しかしこの一年、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの影響は甚大で、グローバルファンド発足以来初めてエイズ、結核、マラリア対策の主な成果が下降に転じました。この後退を挽回し、三大感染症を終息させるには、新型コロナウイルス感染症とも闘わなくてはなりません。そして今日のパンデミックを撃退し、今後に備えるために必要とされる保健システムを至急強化しなくてはなりません。



三大感染症対策の現状

HIV/エイズ

グローバルファンドは、低・中所得国に対する国際的なエイズ対策支援の25%の資金を供与しています。支援対象国におけるエイズ関連死亡者数は2004年のピーク時から68%減少しました。8カ国が国連合同エイズ計画(UNAIDS)の「90-90-90」の2020年の検査と治療目標を達成しました²。この目標はHIV陽性者の90%が検査で自らの感染を知り、HIV感染を知っている人のうち90%が抗レトロウイルス治療を受け、治療を受けている人の90%が体内HIVウイルス量を検出不能レベルに達する(ウイルスの活動が抑えられている)ことを目指しています。しかし、大半の国は目標に及びませんでした。より多くの人々が治療を受けるようになったにもかかわらず、感染数は下げ渋っています。そのうえ新型コロナウイルス感染症によって重要な検査や予防プログラムが中断され、特にHIV感染リスクの高いキーポピュレーション(訳注:対策を進める上で鍵となる集団)や脆弱な人々が影響を受けています。


結核


グローバルファンドは、低・中所得国に対する国際的な結核対策支援の77%の資金を供与しています。支援対象国における結核による死亡者数(HIV陽性者を除く)は、2002年以降28%減少しました。グローバルファンドは技術パートナーや対策実施国と協働し、診断や治療、報告がなされていない「見逃された」結核患者を見つけ出してきましたが、この前進も2020年には新型コロナウイルス感染症によって大きな打撃を受けました。すべての結核の検査や治療の成果は前年と比べて大きく落ち込みました。


マラリア


グローバルファンドは、低・中所得国に対する国際的なマラリア対策支援の56%の資金を供与しています。支援対象国におけるマラリアによる死亡者数は2002年以降45%減少しました。改良型の殺虫剤浸潤蚊帳や新たな小児用マラリアワクチンのパイロットプロジェクトといった新たなイノベーションを進んで取り入れています。コロナ禍にあっても蚊帳の配布や5歳未満の子供への予防的治療といった活動を行なったことでマラリア対策の進捗は概ね安定したものの、前進には至りませんでした。


主な成果


 2190万人が抗レトロウイルス治療を受け、新型コロナにかかわらず、前年(2019年)比で8.8%増加しました。


 470万人が結核治療を受けましたが、新型コロナにより前年(2019年)比で18%減少しました。


 1億8800万張の蚊帳を家庭に配布し、新型コロナにかかわらず、前年(2019年)比で17%増加しました。


 1億400万人がHIV検査を受けましたが、新型コロナにより前年比で22%減少しました。

 10万1000人が薬剤耐性結核の治療を受けましたが、新型コロナにより前年比で19%減少しました。

 2億5900万人がマラリア検査を受けましたが、新型コロナにより前年比で4.3%減少しました。

 870万人がHIV感染予防サービスを受けましたが、新型コロナにより前年比で11%減少しました。

 結核菌に曝された19万4000人の子どもが予防的治療を受け、新型コロナにかかわらず、前年比で13%増加しました。

 1150万人の妊婦が予防的治療を受け、ほぼ前年並みでした。

1. HIVデータは2020年末現在。マラリアと結核データは2019年末現在(発行時点で2020年データ未発表)。

2. <https://www.unaids.org/en/resources/909090>

保健システムの強化

強靱で持続可能な保健システムは今日の感染症を克服するための基盤であり、将来のパンデミックの予防、備え、対応の基本でもあります。グローバルファンドの保健システムへの支援は国際機関の中で最大で、年間10億ドル超の資金を供与しています。多くの低・中所得国は、エイズ、結核、マラリア対策の中でつくられた検査ラボ、疾病サーベイランス、コミュニティネットワーク、サプライチェーンそして研修を受けた医療従事者を活用することで、新型コロナウイルス感染症に迅速に対応することができました。またグローバルファンドのパートナーシップは、誰もが必要な保健医療サービスを受けられるよう、人権やジェンダーに関する障壁を取り除くなど、三大感染症との闘いを通じて得た重要な教訓やコミュニティに関する知見を活かしています。

新型コロナウイルス感染症との闘い

グローバルファンドは新型コロナウイルス感染症に迅速に対応し、多額の資金を供与するとともに、その専門性と強力なグローバルネットワークを活用してきました。2021年8月現在、新型コロナウイルス感染症対応メカニズムおよび柔軟な資金活用を通じて107カ国及び16の広域プログラムに33億ドルを支援しています。各国は、新型コロナウイルス感染症への対応として重要な検査、治療や医療器具、最前線で働く医療従事者の保護、三大感染症からの救命のためのプログラム、脆弱な保健システムの強化などに資金を使っています。

グローバルファンドは、新型コロナウイルス感染症対策の検査、治療、ワクチンの開発の加速と公平な配分を確保し、保健システムを強化することを目的とする画期的な国際協働の仕組みACTアクセラレーター(Access to COVID-19 Tools Accelerator)の創設パートナーのひとつです。グローバルファンドは、ACTアクセラレーターの検査部門と保健システム部門で主管組織を務め、治療部門では調達と展開のリード組織を務めています。ACTアクセラレーターを通じて、グローバルファンドは低・中所得国における新型コロナウイルス感染症の検査や治療(医療用酸素を含む)、個人用防護具、保健システムの強化に重要な要素に資金を供与する主要なチャンネルとなっています。

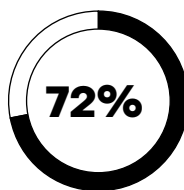


© UNICEF / Singh

個人防護具に身を包んだコロナ広報コーディネータのムハマド・ユヌス氏(右)とサーラム・シャイク氏。インド・ムンバイにて

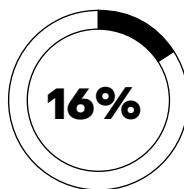
各国の新型コロナウイルス対策資金の使途

2021年8月現在



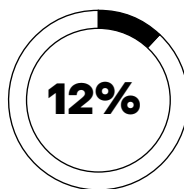
全国における新型コロナウイルス感染症対応の強化

検査、治療、医療用酸素や医療器具の調達、最前線で働く医療従事者向け研修、手袋やマスクなどの個人防護具、検査、追跡や治療/隔離といった封じ込めへの支援など。



エイズ、結核、マラリア対策に与える新型コロナウイルス感染症の影響軽減

医薬品、蚊帳、重要物資の戸別訪問による供給、コミュニティ・ヘルスワーカーへの支援、デジタル・プラットフォームを通じた支援など。



保健やコミュニティのシステムの早急な改善

サプライチェーン、検査ラボのネットワーク、コミュニティ主導の対応システムの強化など。